

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	Grammer II		（ NCR12T ）
講義名（コード）	Grammar II		（ NCR12TX ）
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース	単位数	2
授業担当者	木村 みゆき	時間数	30
成績評価教員	木村 みゆき	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	文法を理解することにより読解や英語での表現の幅を広げる。
全体的内容と概要	文章の構成、品詞の役割を学び、練習問題を通して実際に使えるようにする
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	前期の復習	過去から未来までの時間の経過の復習をする
2	have to/ mustの用法を理解する	have to/ mustの違いを学び現在・過去・未来の文章に当てはめる
3	shouldの使い方を理解する	shouldの使い方を理解し、文章を作る
4	suggest that～原形の構文を理解する	suggest/demand/ insist/recommend等の動詞を使った文章をつくる
5	助動詞を理解し使えるようになる	would/will /can /could…を使って要求・許可・申し出の文を作る
6	仮定法過去を理解する 1	仮定法過去を使う状況を理解し練習問題をする
7	仮定法過去を理解する 2	仮定法過去を使って文章を作る
8	仮定法過去完了を理解する	仮定法過去完了を使う状況を理解し、使い分ける
9	受動態を理解する 1	受動態の構文を紹介する
10	受動態を理解する 2	受動態と助動詞、現在完了、進行形の組み合わせをする
11	have/get ～過去分詞を使えるようになる	～してもらふ という場面を想定して文章を作る
12	疑問文の作り方の基本を理解する	Yes/No の質問・疑問詞の疑問文・否定疑問文を作る練習
13	後期の復習	練習問題をしながらテストに備える
14	テスト	
15	テストFB	テストの解説

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	マーフィーのケンブリッジ英文法 中級編
参考文献・資料等	
備考	